

# 通学のしおり

## I 「通学のしおり」目的と対象

### 1 目的

蘇州日本人学校（以下、学校という）は、児童生徒が安全で安心できる登下校の実現を目指し、この「通学のしおり」を定め運用する。

### 2 対象

蘇州日本人学校在籍の児童生徒およびその保護者を対象とする。

## II 通学の基本原則

### 1 通学は保護者の責任

- ・児童生徒の通学は、各住居と学校間（学校敷地内）を保護者の責任において行う。
- ・通学方法は「3 通学方法とその制限」から、保護者が自身の責任において選択する。

#### 個人通学

保護者が周囲の安全に注意すると共に、交通ルール・マナーを守るよう指導する。

#### 校車通学

車内でのマナー・学校で決められたルールを守るよう、保護者も児童生徒に指導を徹底する。

### 2 「通学のしおり」の遵守

児童生徒と保護者は、この「通学のしおり」に記す通学方法を遵守することが求められる。いずれの通学方法も保護者の責任において選択し、きまりを守ることによって継続利用することができる。

### 3 通学方法とその制限

※通学方法は以下のいずれかを選択する。

	個人通学	校車通学
条件	各家庭で行う	申込みが必要
携帯品	入校証（保護者）	乗車証（児童生徒） 入校証（保護者）
送迎に関するきまり	自宅と学校間の送迎は、保護者または保護者に代わる成人が引率する。	自宅とバス停間の送迎は、保護者または保護者に代わる成人が引率する。
登校時	保護者または保護者に代わる成人が引率し、児童生徒が入門するのを目で確認する。	保護者または保護者に代わる成人が、出発時刻までに児童生徒をバス停まで引率し、安全かつ確実に乗車したことを見届ける。
下校時	保護者または保護者に代わる成人が入校証を提示して入校し、校地内で児童生徒と出会い、引率者と児童生徒がまとまって門を出る。	校車到着時刻をもとに位置システムを利用してバス停到着時刻を知り、保護者または保護者に代わる成人がバス停まで児童生徒を迎えに来る。保護者または保護者に代わる成人が児童生徒を引率して自宅に戻る。
早退等による下校方法の変更	<ul style="list-style-type: none"><li>・事前にわかっている場合→学級担任に連絡帳等で知らせる。</li><li>・急な変更の場合→学校に直接連絡する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・事前にわかっている場合→学級担任に連絡帳等で知らせる。学級担任は児童生徒の不乗車をバスアイに伝える。</li><li>・急な変更の場合→学級担任に直接知らせる。学級担任は児童生徒の不乗車をバスアイに伝える。</li></ul>

※児童生徒単独（引率なし）での通学は禁止する。

※児童生徒が自転車を運転して通学することは禁止する。（参考：中国の法律では、12歳以下の子どもが公道で自転車を運転することを禁止している。）

※個人通学で自転車や電動バイク等に児童生徒を乗せた場合、万が一事故が起きたときの責任は、運転者にあることを十分理解しておく。

※個人通学で自家用車やタクシーを利用して児童生徒を送迎する場合、以下のようにする。

○登校時 正門より南側の淮海街に停車させ、児童生徒を下車させる。保護者または保護者に代わる成人は児童生徒の入門の確認を必ず行う。

○下校時 正門より南側の淮海街に停車（短時間）させ、保護者または保護者に代わる成人が入校証を提示し、児童生徒を迎えるために校地内に入る。

#### 4 「入校証」「乗車証」持参の原則

##### (1) 個人通学

- ・保護者または保護者に代わる成人は「入校証」を持参し、敷地内玄関付近の黄線のところで児童生徒を引き取る。
- ・児童生徒を引き取った者は、責任をもって児童生徒を下校させなければならない。

##### (2) 校車通学

- ・児童生徒は「乗車証」を携帯し、乗車の際にはバスアイに名前を告げ、乗車後、ICカード読取り機に「乗車証」をかざす。下車するときもICカード読取り機に「乗車証」をかざす。送迎をする保護者は「入校証」を携帯し、バスアイに「入校証」を提示する。

#### 5 入校できる時間

児童生徒の送迎に際し、入校できる時間を以下のように定める。

- ・通常の登校時刻は7時40分以降とする。（児童生徒と保護者）
- ・通常の下校時刻は16時00分、部活動や中国語会話がある場合は17時00分とする。入校できるのは、それぞれその30分前からとする。
- ・個人通学では、保護者または保護者に代わる成人は、下校時刻の5分後までに児童生徒を引き取らなければならない。
- ・遅刻、早退をする場合、保護者または保護者に代わる成人は、上記の範囲にかかわらず入校できる。